

資料 5

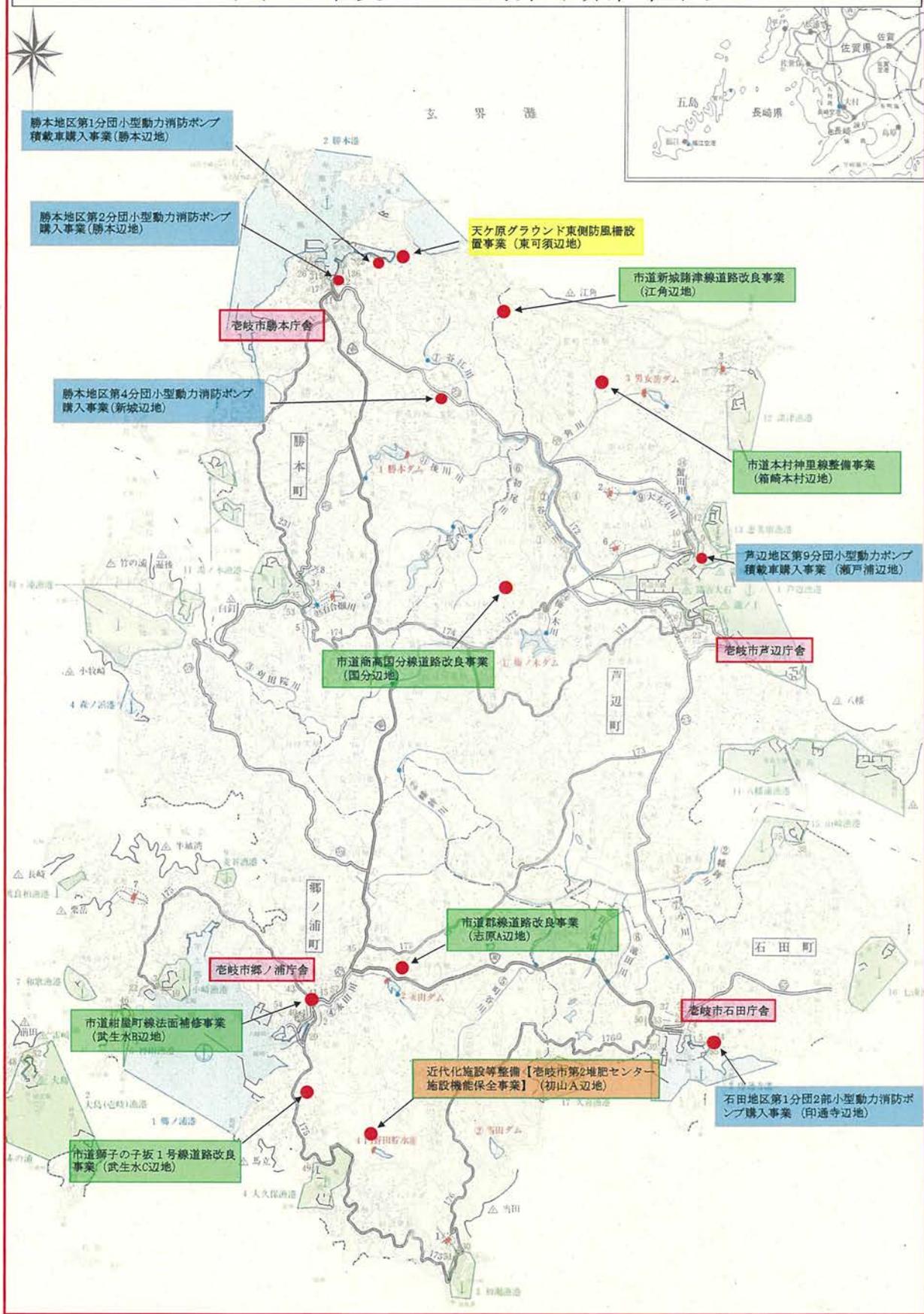
令和 2 年老岐市議会定例会 6 月会議 議案第 4 4 号関係資料

辺地対策事業位置図等

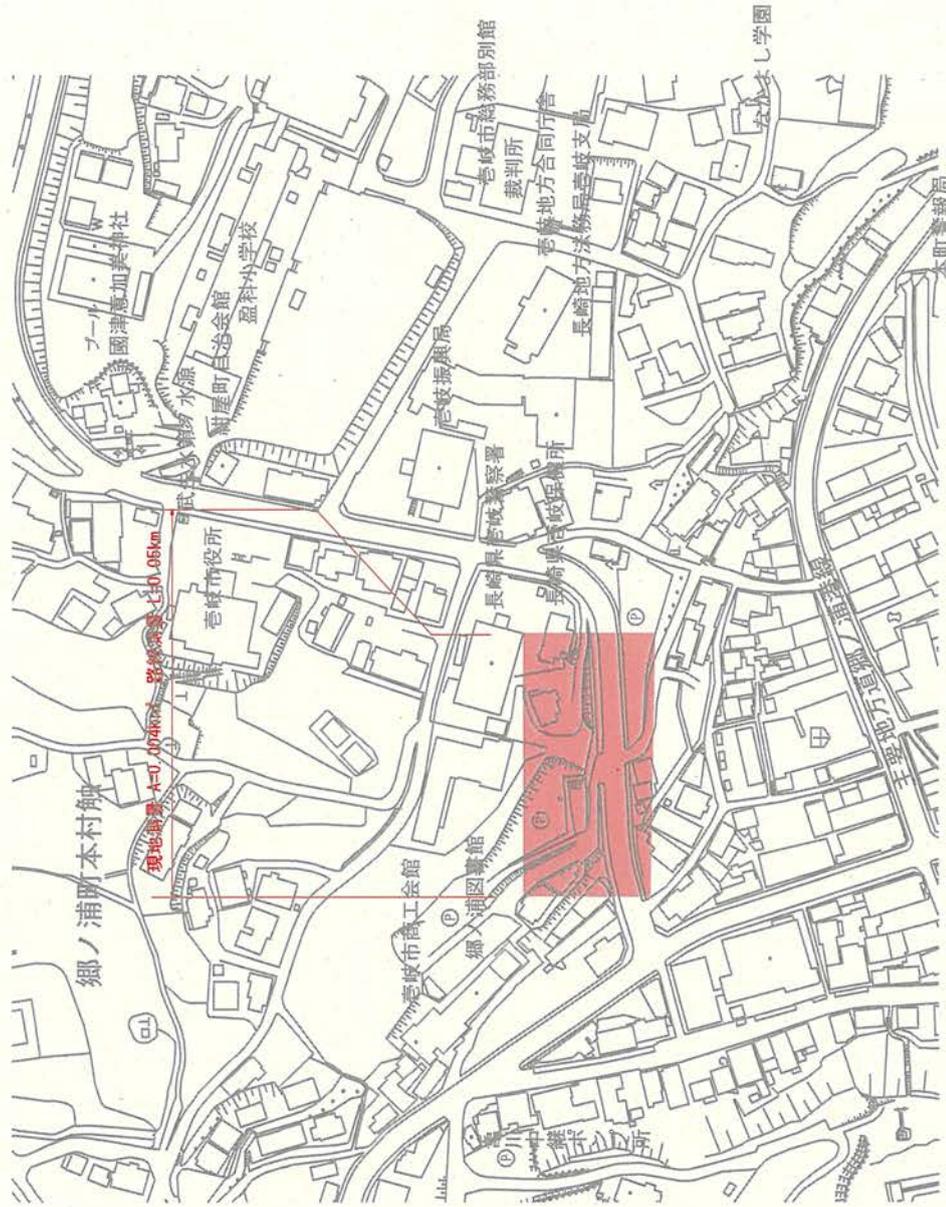
辺地対策事業関係資料

No.	事業名	ページ数
1	辺地対策事業位置図	1
2	市道紺屋町線法面補修事業	2
3	市道郡線道路改良工事	7
4	市道獅子の子坂1号線道路改良工事	9
5	市道商高国分線道路改良事業	11
6	市道本村神里線道路改良事業	13
7	市道新城諸津線道路改良事業	15
8	近代化施設等整備事業 (壱岐市第2堆肥センター施設機能保全事業)	17
9	勝本地区第1分団小型動力ポンプ積載車購入事業	20
10	芦辺地区第9分団小型動力ポンプ積載車購入事業	
11	勝本地区第2分団小型動力ポンプ購入事業	21
12	勝本地区第4分団小型動力ポンプ購入事業	
13	石田地区第1分団2部小型動力ポンプ購入事業	
14	天ヶ原グラウンド東側防風柵設置事業	23

令和2年度 辺地対策事業位置図



1 級市道紺屋町線道路防災安全工事（測量業務委託） 平面図

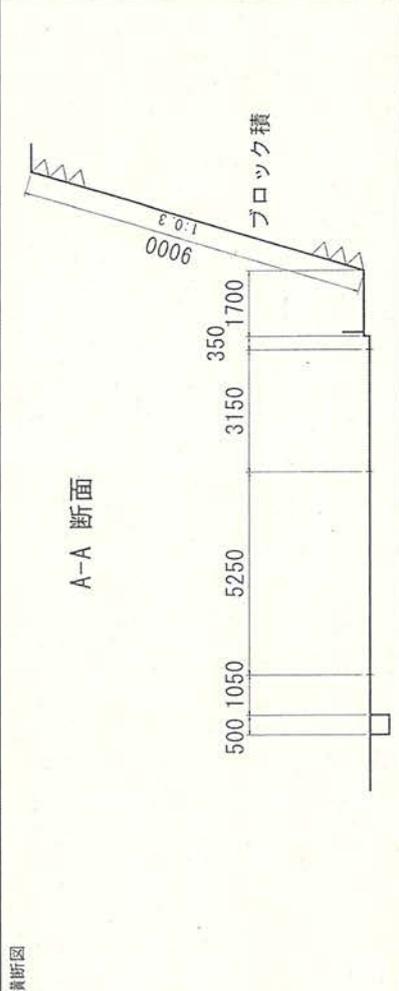
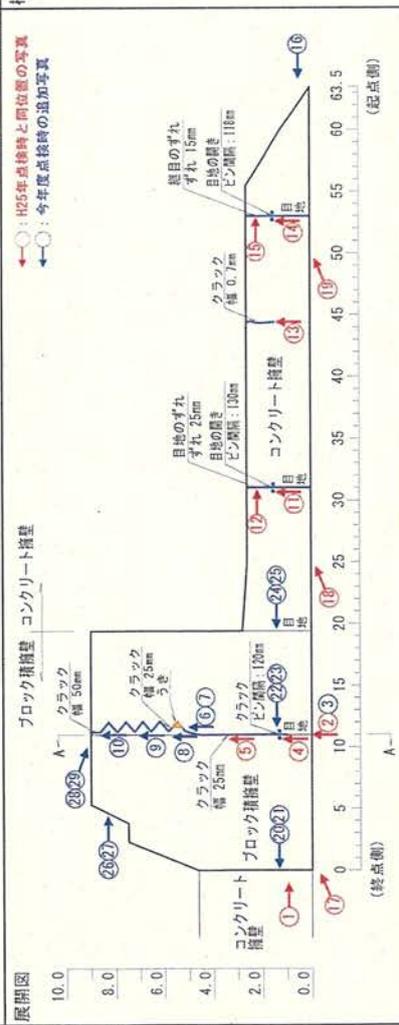
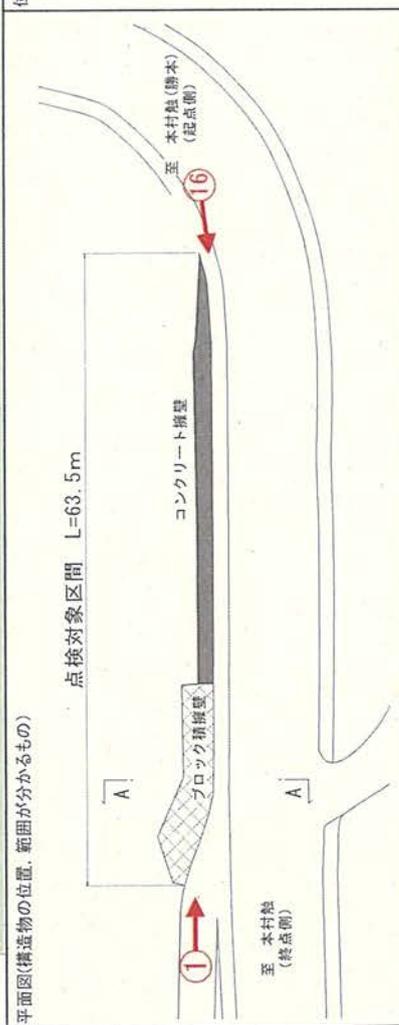


起工

年度	令和2年度
道路名	1 級市道紺屋町線
施工箇所	紺屋町線/浦野町線
設置種類	平面図
縮尺	S=1:1000
図面番号	

長崎県巻巻市

管理機関		吉崎市		建設部建設課		
路線名	1級市道 紺屋町線	整理番号	56	施設管理番号	0009G040	
所在地	長崎県吉崎市郷ノ浦町本村触					
距離(自)	0.70					
理道・旧道区分	現道	事前通行規制の有無	無	災害履歴の有無	無	
道筋的地点検核結果	カルテ対応					
上下線の区分	上り線					
緯度・経度 (世界測地系)	起点		北緯	33° 44' 55.1"	東経	129° 41' 28.9"
緯度・経度 (世界測地系)	終点		北緯	33° 44' 55.0"	東経	129° 41' 26.4"
施設種別	擁壁工		施設種別詳細	コンクリート擁壁工		
施設延長(m)	63.5					
完成年月	不明					
最新の詳細履歴	不明					
補修内容						



調査実施年月: 2019年10月

調査実施場所: 2019年10月

調査実施内容: 調査実施場所は、打音検査を実施し、ブロック積構造の終点より11m地点(00写真)クラック幅は最大50mmが確認される。その間口部周辺ではコンクリート塊の浮きや剥離が認められ、約70mm程度の陥没、約70mm程度の亀裂が確認される。ブロック積の亀裂及び背面の陥没の要因は、ブロック積構造20m区間は高9m程度と運用高さを本図に記入していることから、超過した土圧作用による押し出しと共に調査前後の状況に伴う陥没が発生したものと推測される。終点より11m地点のクラック及び施工目地には植生根が確認され、成長によって間隙コンクリートの剥離剥落につながると考えられる。また、当該区間は歩行者交通も多いため、緊急に対処が必要と判断される。(巻紙併用写真:15)

調査実施結果

調査実施年月: 2019年10月

調査実施場所: 2019年10月

調査実施内容: 調査実施場所は、右側の歩道(幅員1.7m)に面した切土掘り土留め擁壁である。起点から50.5mの区間は、高さ2.7m、断面勾配1:0.3のコンクリート擁壁、20.5mから終点間は高さ9m、断面勾配1:0.3のブロック積構造となる。ブロック積構造上部は終点付近より平坦な地山である。コンクリート擁壁の要状は、00写真位置の目地の開き・ずれ、000写真の目地の開き・ずれは、H25年点検時と要状の異なる見受けられる。ブロック積構造は高所であり、H25年点検と比較するための詳細点検を実施する。

今後の対応: 大型ブロック積構造等の構造形式の変更が必要である。

備考:

調査実施年月: 2019年10月

調査実施場所: 2019年10月

調査実施内容: 調査実施場所は、打音検査を実施し、ブロック積構造の終点より11m地点(00写真)クラック幅は最大50mmが確認される。その間口部周辺ではコンクリート塊の浮きや剥離が認められ、約70mm程度の陥没、約70mm程度の亀裂が確認される。ブロック積の亀裂及び背面の陥没の要因は、ブロック積構造20m区間は高9m程度と運用高さを本図に記入していることから、超過した土圧作用による押し出しと共に調査前後の状況に伴う陥没が発生したものと推測される。終点より11m地点のクラック及び施工目地には植生根が確認され、成長によって間隙コンクリートの剥離剥落につながると考えられる。また、当該区間は歩行者交通も多いため、緊急に対処が必要と判断される。(巻紙併用写真:15)

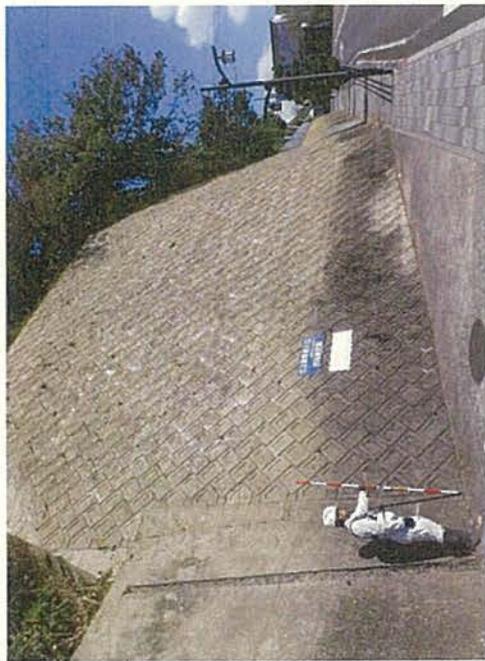
調査実施結果

調査実施年月: 2019年10月

調査実施場所: 2019年10月

調査実施内容: 調査実施場所は、打音検査を実施し、ブロック積構造の終点より11m地点(00写真)クラック幅は最大50mmが確認される。その間口部周辺ではコンクリート塊の浮きや剥離が認められ、約70mm程度の陥没、約70mm程度の亀裂が確認される。ブロック積の亀裂及び背面の陥没の要因は、ブロック積構造20m区間は高9m程度と運用高さを本図に記入していることから、超過した土圧作用による押し出しと共に調査前後の状況に伴う陥没が発生したものと推測される。終点より11m地点のクラック及び施工目地には植生根が確認され、成長によって間隙コンクリートの剥離剥落につながると考えられる。また、当該区間は歩行者交通も多いため、緊急に対処が必要と判断される。(巻紙併用写真:15)

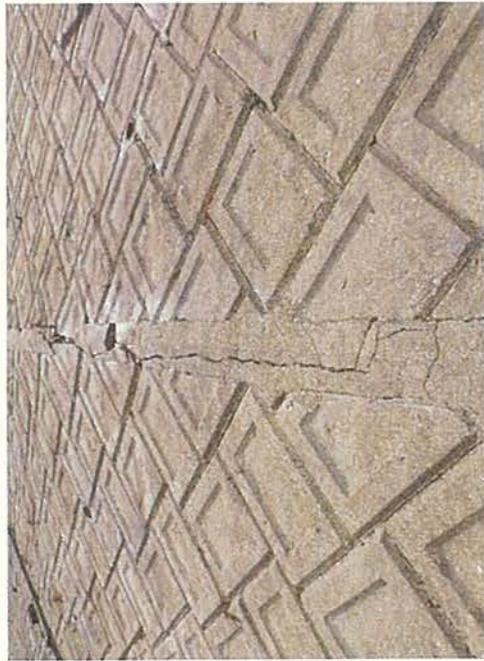
路線名	1級市道 紺屋町線	整理番号	56	施設管理番号	0009G040	所在地	長崎県杵臼市郷ノ浦町本村触	距離標(自)	0.70	管理機関	杵臼市 建設部建設課
								(至)	0.76		



①終点全景(左端部)



②終点より11m地点の目地のクラック

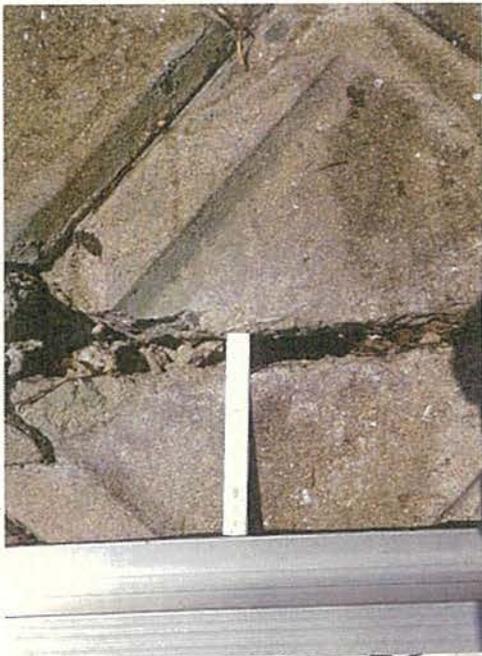


③終点より11m地点の目地のクラック
(②写真拡大)



④終点より11m地点の目地のクラック
(ピン間隔:120mm)

路線名	1級市道 紺屋町線	整理番号	56	施設管理番号	0009G040	所在地	長崎県志岐市郷ノ浦町本村触	距離(自)	0.70	(至)	0.76
管理機関	志岐市 建設部建設課										



⑤終点より11m地点の目地のクラック(幅25mm)



⑥終点より11m地点のクラック・浮き
(たたき落として前)



⑦終点より11m地点のクラック・浮き
(たたき落として後)



⑧終点より11m地点のクラック・うき
(幅25mm)

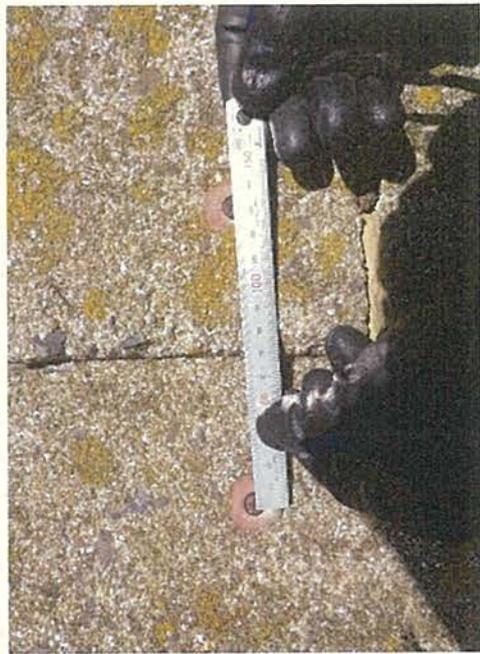
路線名	1級市道 紺屋町線	整理番号	56	施設管理番号	0009G040	所在地	長崎県杵枝市郷ノ浦町本村触	距離標(自)	0.70	(至)	0.76
管理機関								杵枝市 建設部建設課			



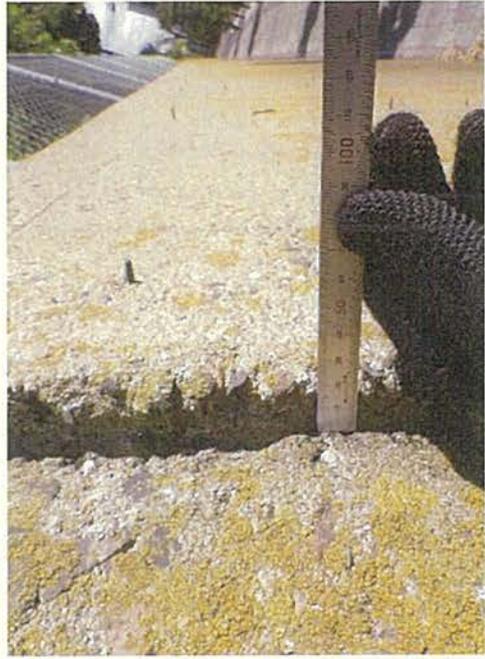
⑨終点より11m地点のクラック



⑩終点より11m地点のクラック(幅50mm)

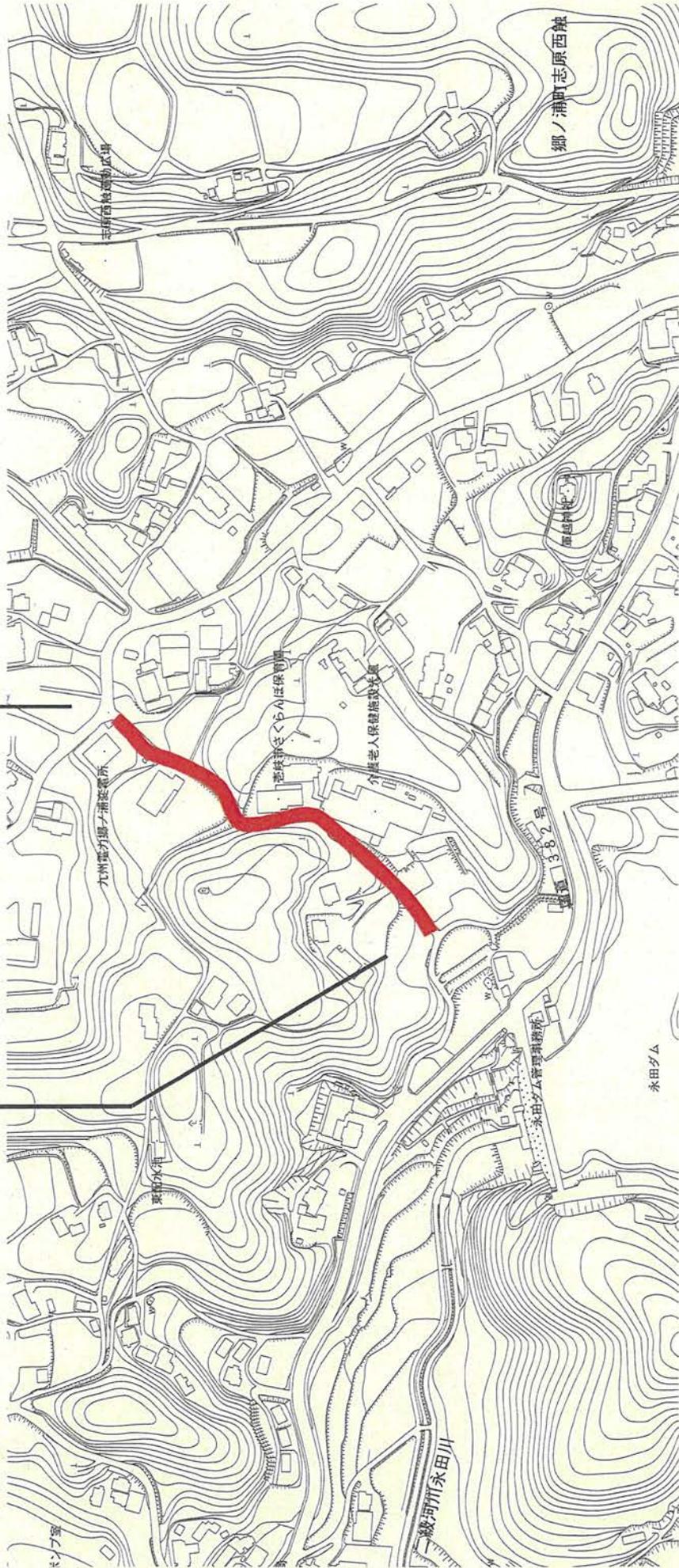


⑪終点より31.1m地点の目地の開き・ずれ
(ピン間隔:130mm)



⑫終点より31.1m地点の目地の開き・ずれ(ずれ25mm)

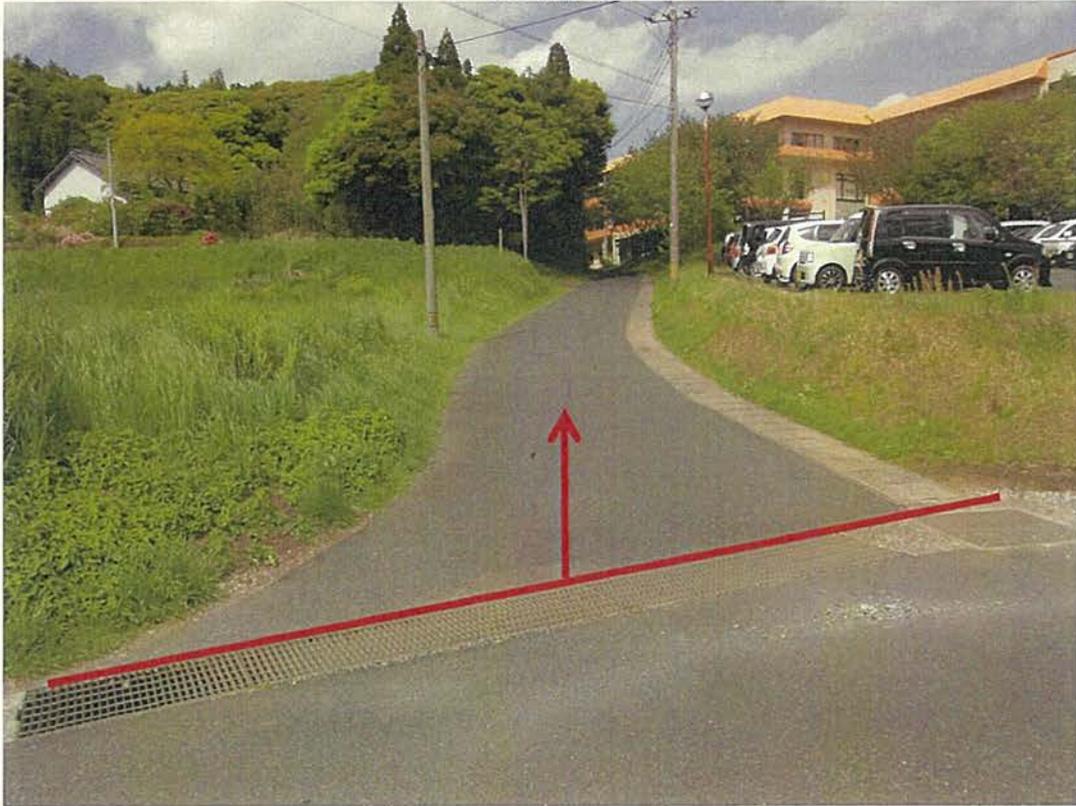
市道郡線道路改良事業



凡例	
平成31年度まで	黒
令和2年度施工区間	赤
令和3年度以降	青

令和2年度 市道郡線道路改良事業

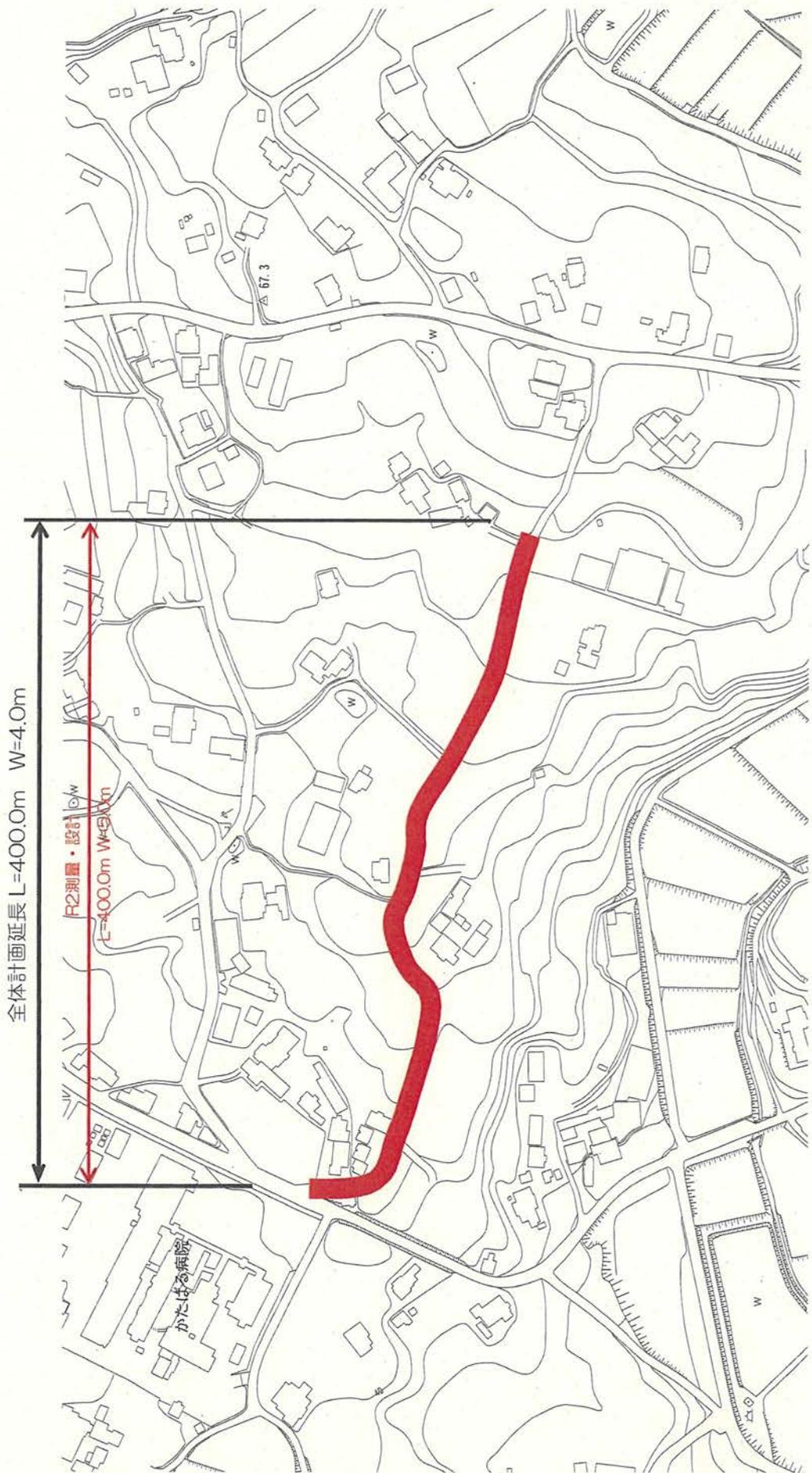
工事起点



工事終点



市道獅子の子坂1号線道路改良事業



全体計画延長 L=400.0m W=4.0m

R2測量・設計
L=400.0m W=4.0m

凡例	
平成31年度まで	
令和2年度施工区間	
令和3年度以降	

令和2年度 市道獅子の子坂1号線道路改良事業

工事起点



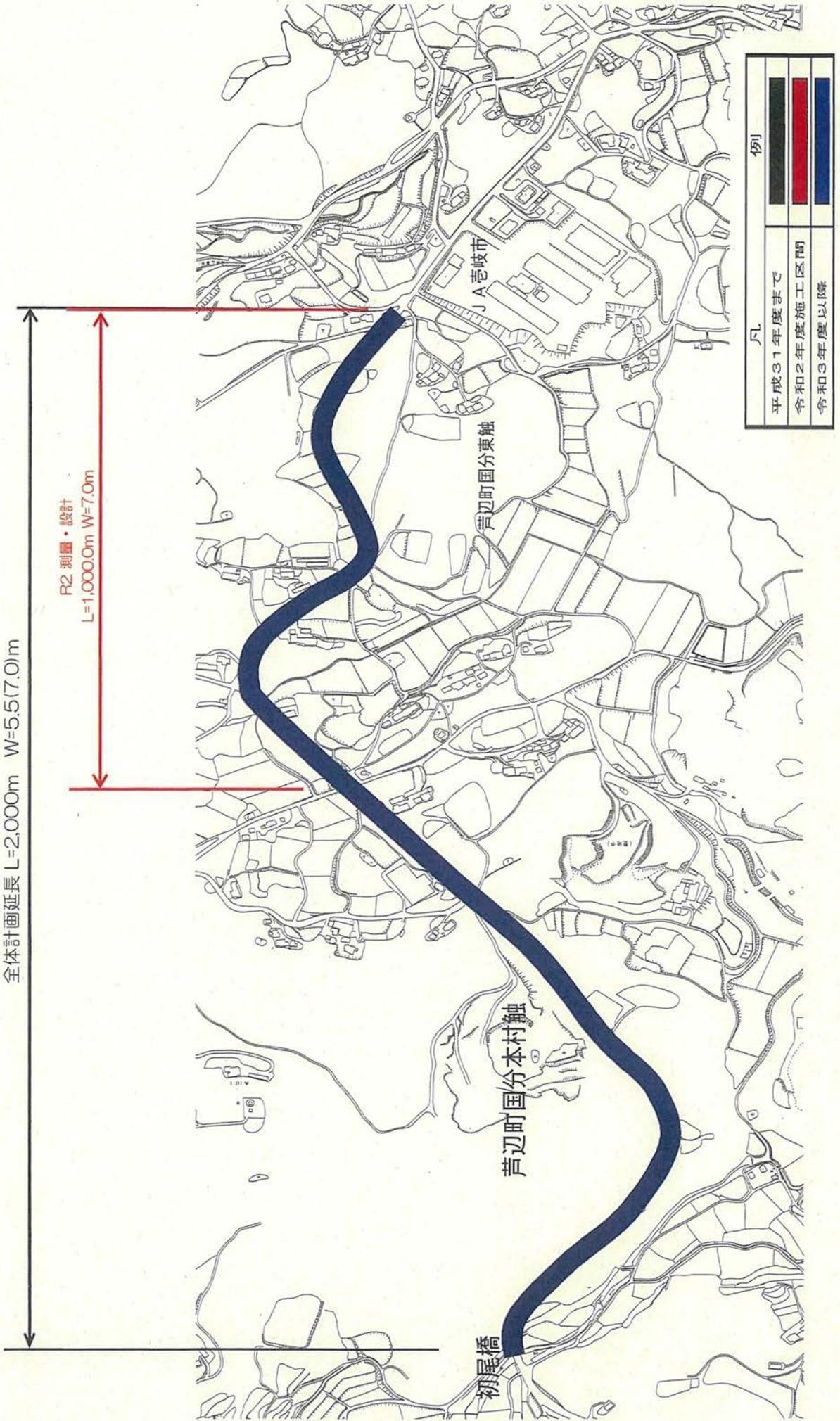
工事終点



市道商高国分線道路改良事業

全体計画延長 L=2,000m W=5.5(7.0)m

F2 測量・設計
L=1,000.0m W=7.0m



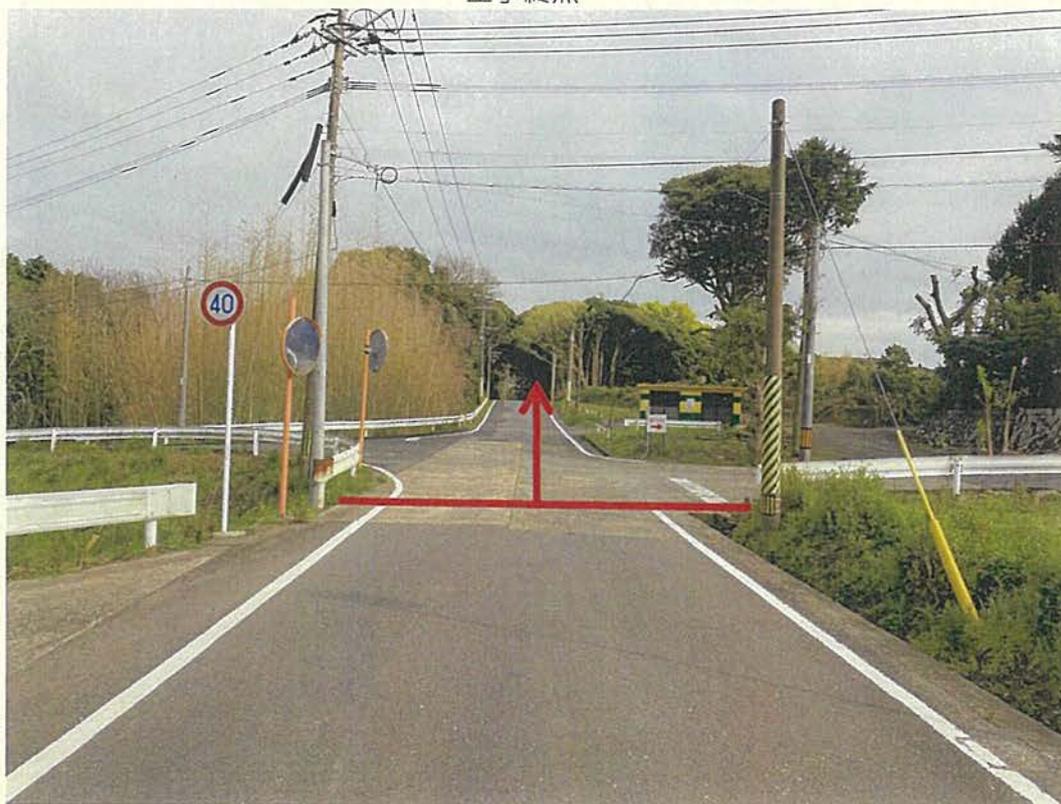
凡 例	
平成31年度まで	黒
令和2年度施工区間	赤
令和3年度以降	青

令和2年度 市道商高国分線道路改良事業

工事起点



工事終点

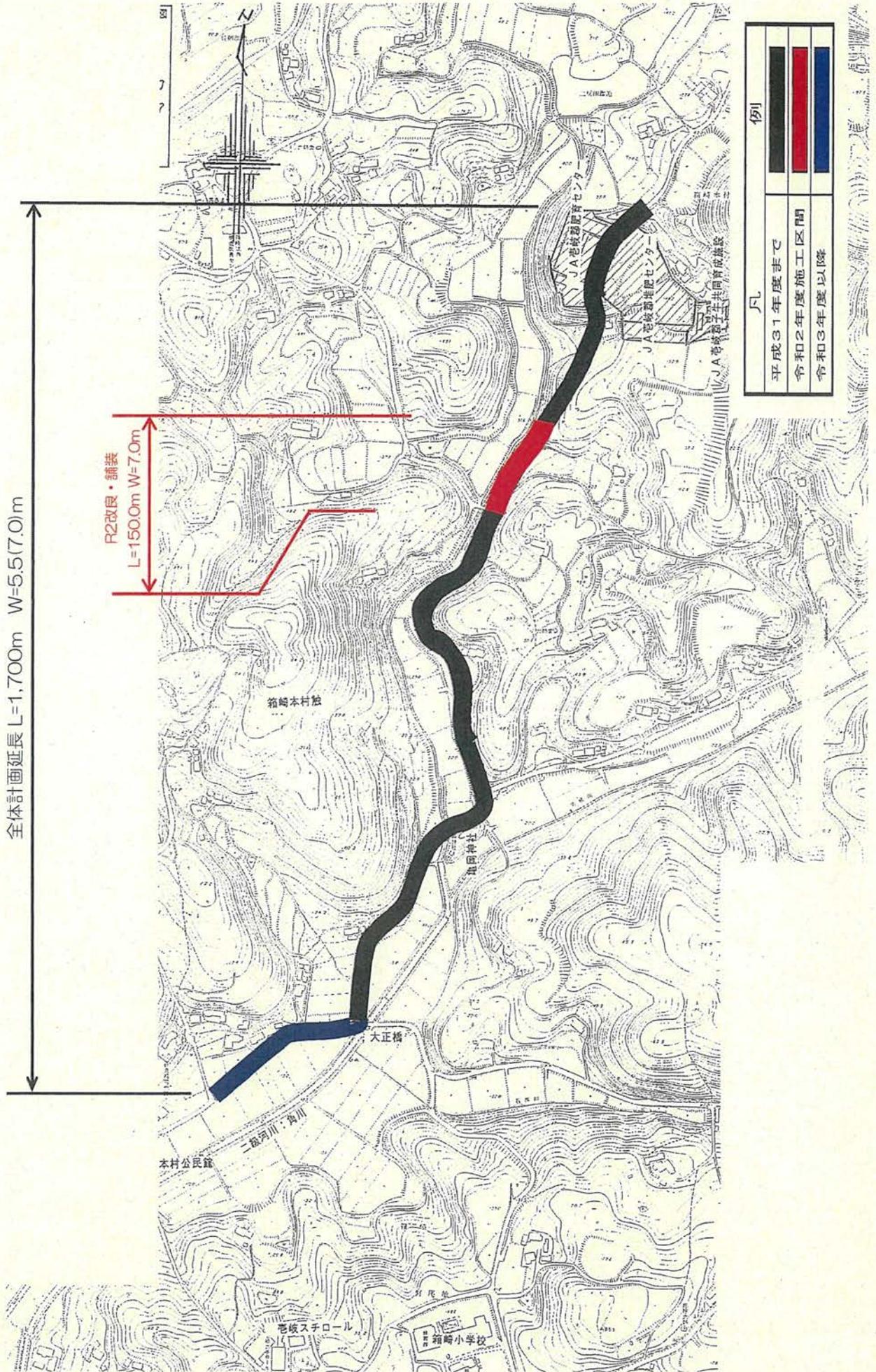


市道本村神里線整備事業

全体計画延長 L=1,700m W=5.5(7.0)m

R2改良・舗装

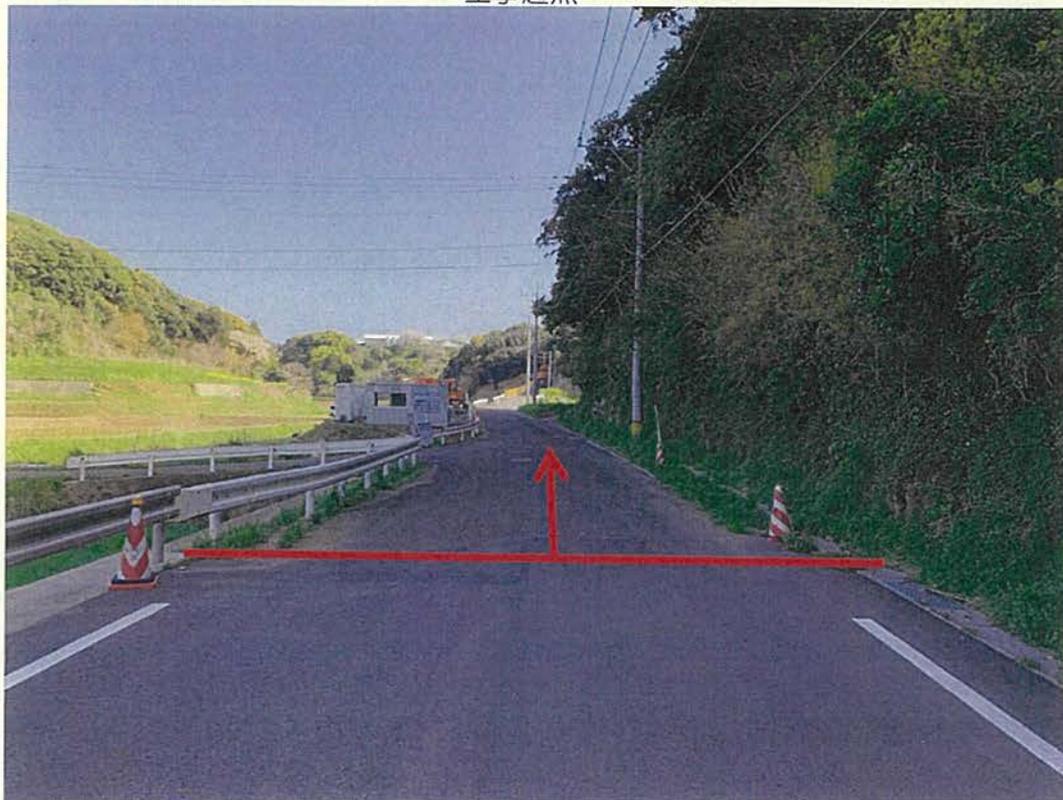
L=150.0m W=7.0m



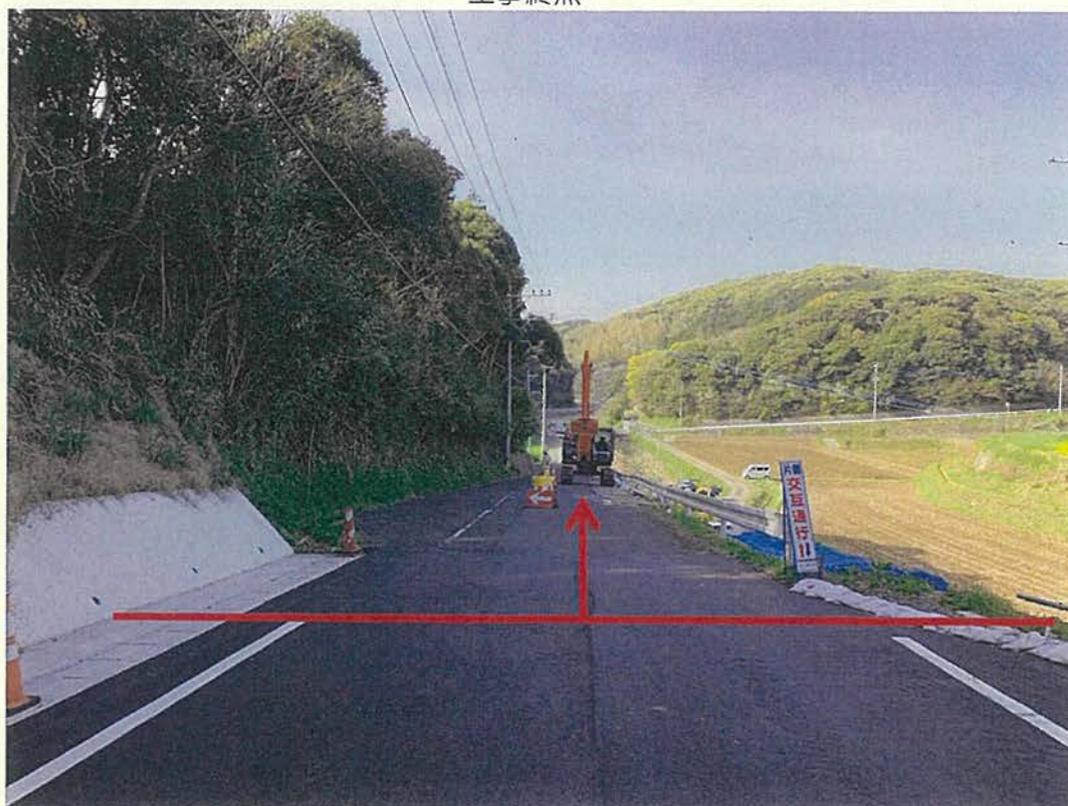
例	
平成31年度まで	黒
令和2年度施工区間	赤
令和3年度以降	青

令和2年度 市道本村神里線整備事業

工事起点



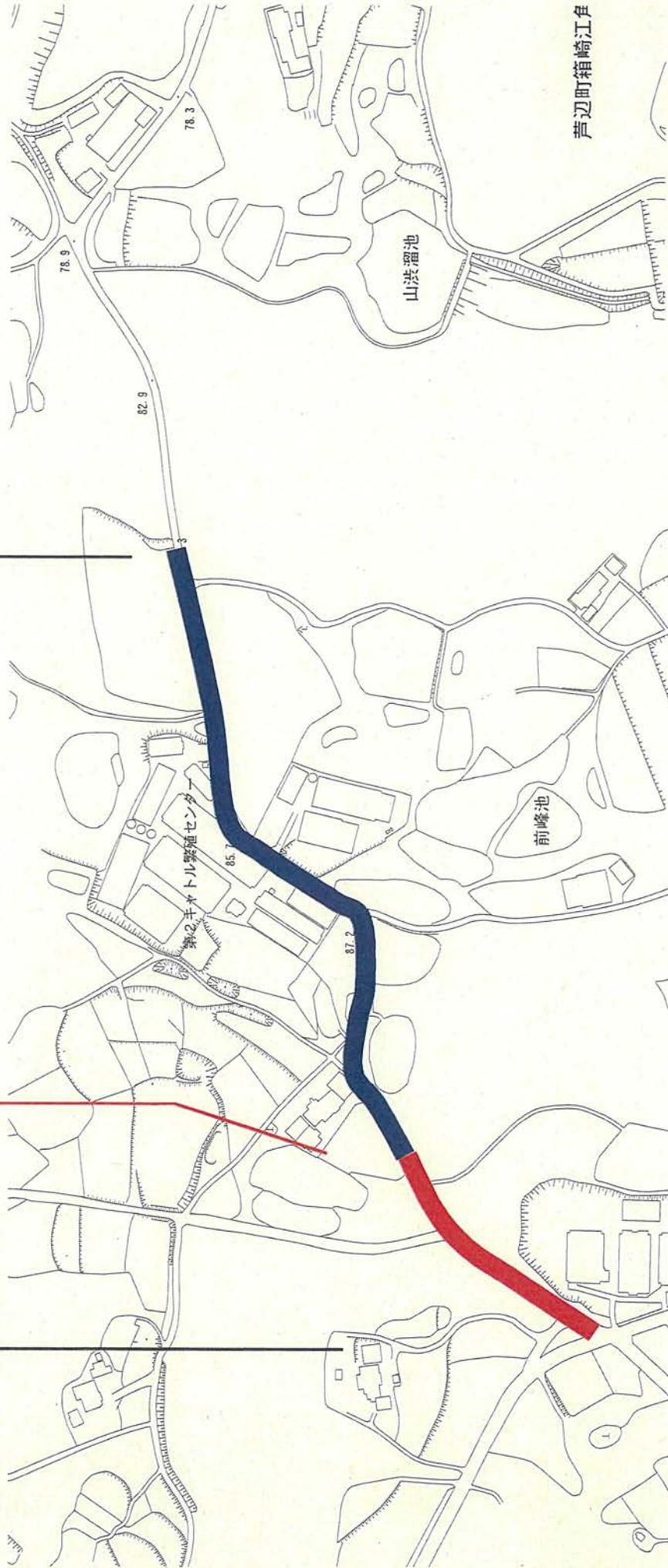
工事終点



市道新城諸津線道路改良事業

全体計画延長 L=500m W=5.5(7.0)m

R2 改良・舗装
L=100.0m W=7.0m

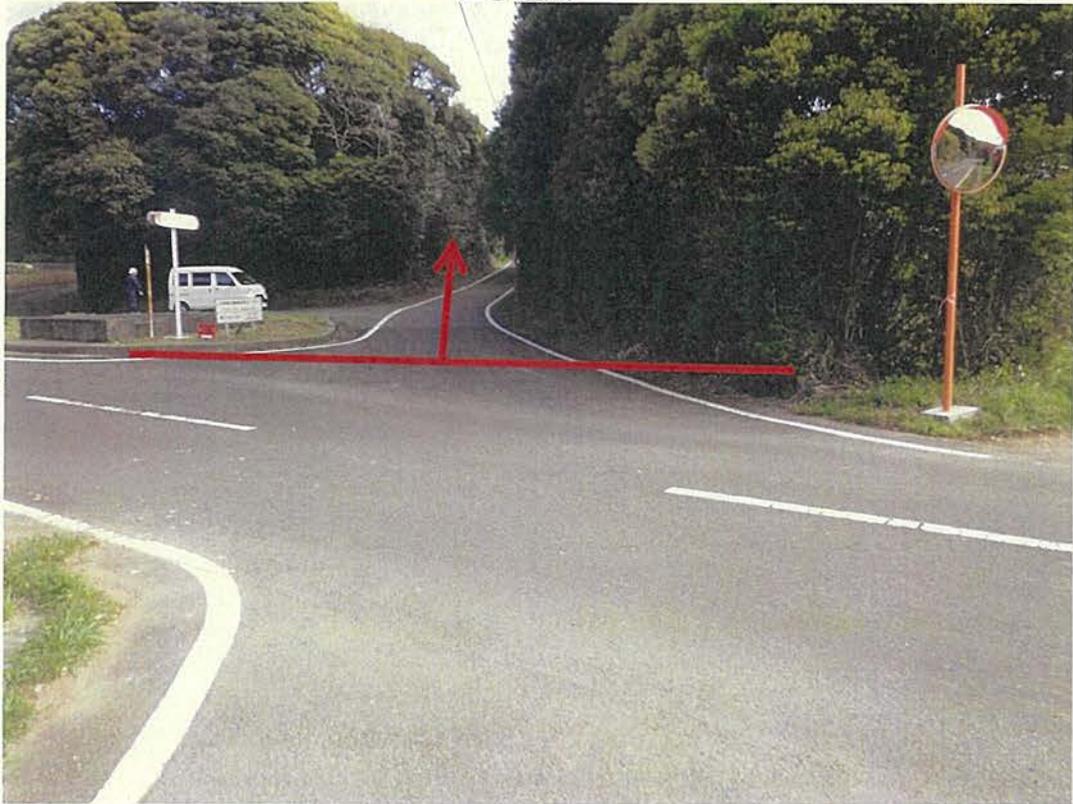


芦辺町箱崎江角

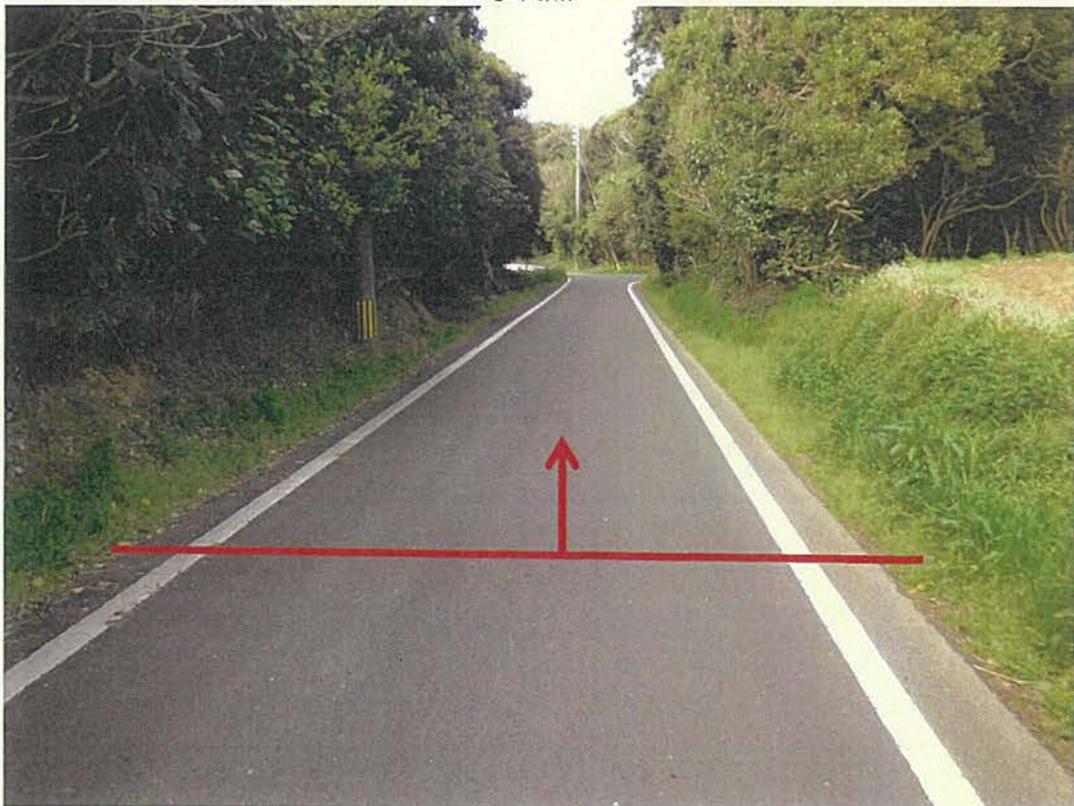
凡	例
平成31年度まで	
令和2年度施工区間	
令和3年度以降	

令和2年度 市道新城諸津線道路改良事業

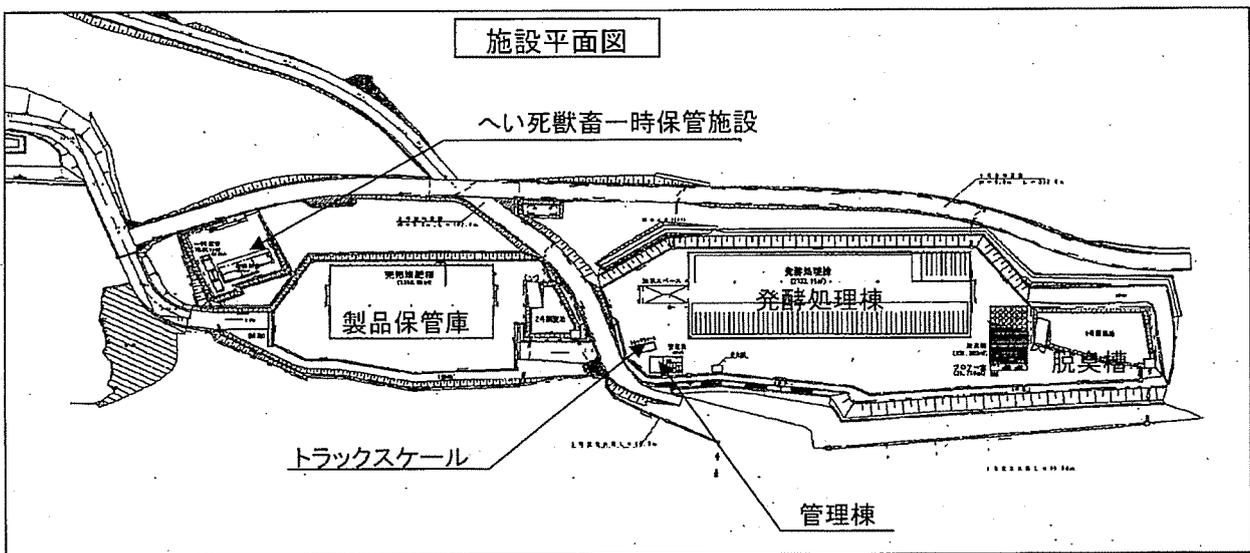
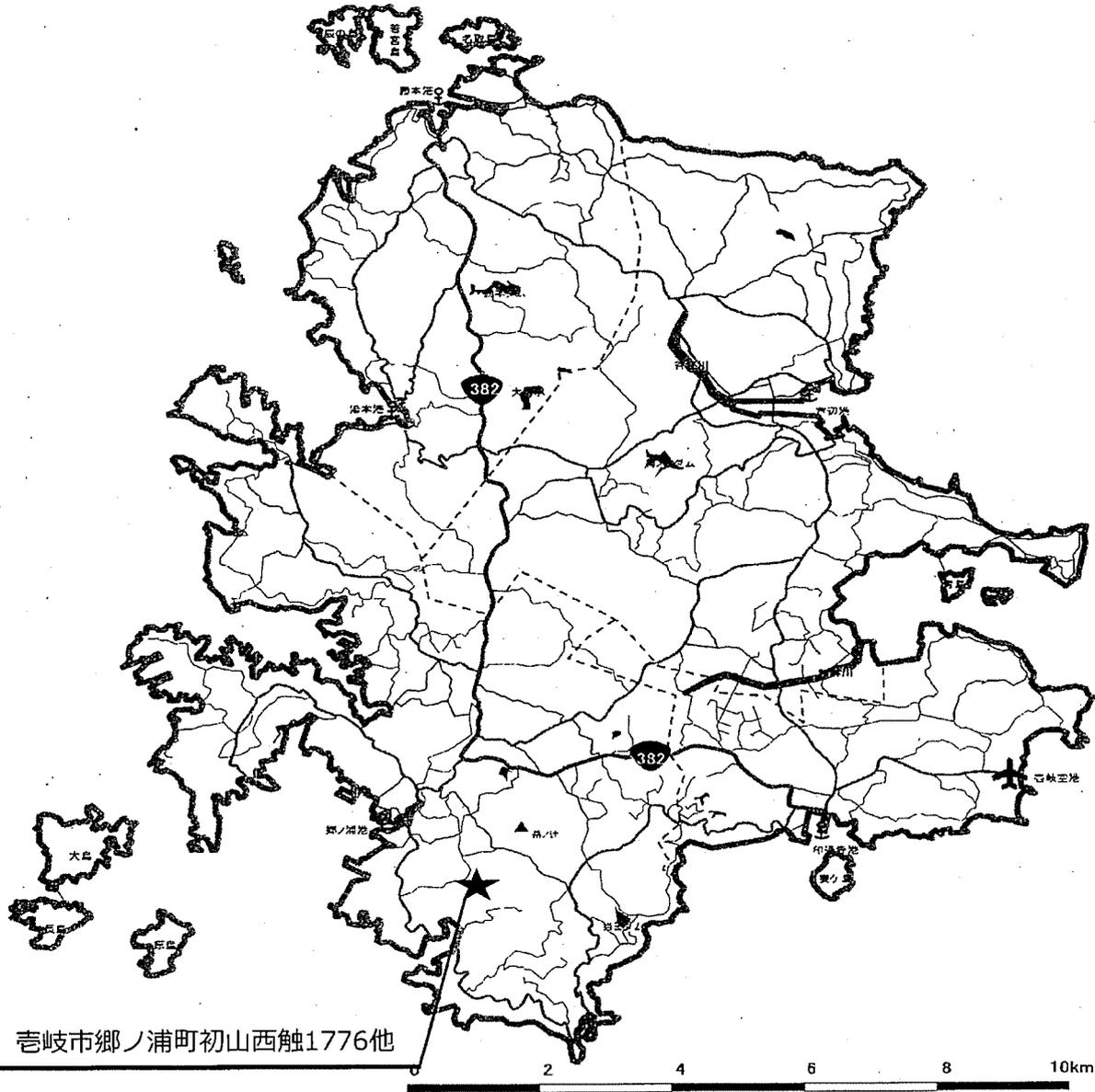
工事起点



工事終点

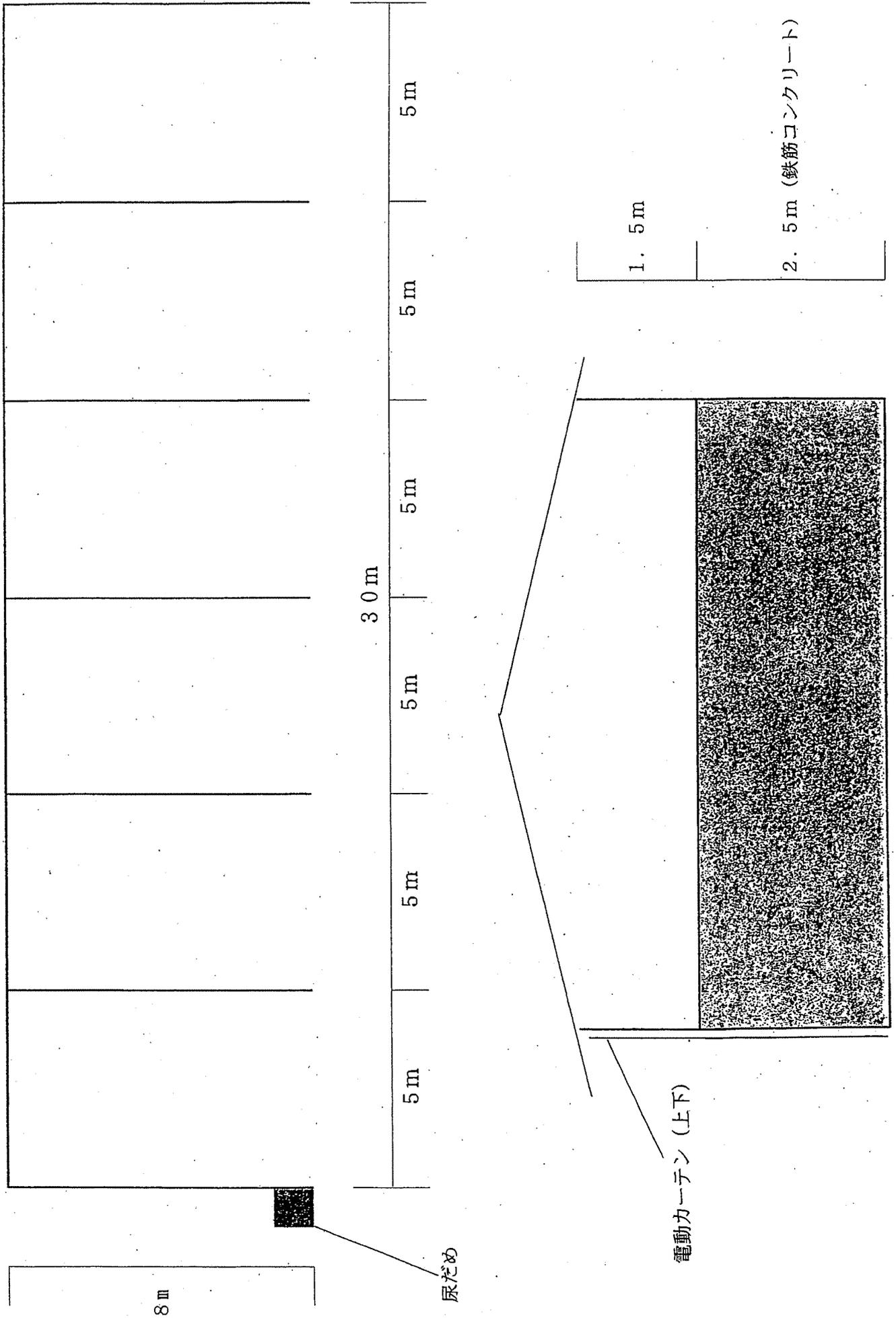


吉農第72号
 吉岐市郷ノ浦町堆肥センター 堆肥発酵処理施設建設工事設計業務
 位置図、施設平面図



配置図







現場で頼もしく、環境にやさしい
時代が求める性能をここに。



FF500 B-2級

- 質量:98kg
- 始動方式:セルモータ式・リコイル式
- 規格圧力:0.7MPa
- 規格放水量:1.32m³/min



FF450 B-3級

- 質量:98kg
- 始動方式:セルモータ式・リコイル式
- 規格圧力:0.55MPa
- 規格放水量:1.44m³/min



FF400 B-3級

- 質量:98kg
- 始動方式:セルモータ式・リコイル式
- 規格圧力:0.55MPa
- 規格放水量:1.26m³/min

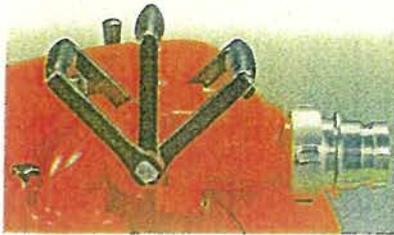
■基本性能 (FF500/FF450/FF400 共通)





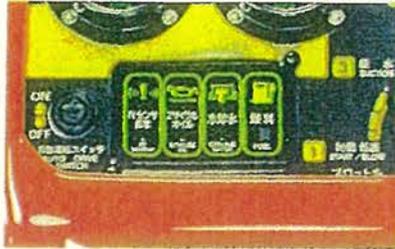
クイックバルブ

パワフル&スピーディな送水性能。



OKモニター

運転状態を一目で確認。



背面透光式圧力・連成計 / ダンパー式圧力計・連成計

夜間の視認性バツグンの背面透光式圧力・連成計と針がぶれなく正確指針のダンパー式圧力計・連成計。



W吸水方式

&オイルレス真空ポンプ

独自の吸水方式で最速吸水を実現。



全自動充電器

保守管理が容易。



オーバーヒート防止装置

エンジンの異常加熱や冷却水の異常昇温時はエンジンを自動停止。



自動吸水 (オプション)

エンジン始動後の吸水操作を自動化。吸水できない場合にはエンジンが自動停止します。自動/手動の切替スイッチ付で、実戦や訓練での状況に応じて使い分けが可能です。

ステップレス スロットルダイヤル

俊敏なスロットル操作を重視。

下置き燃料タンク

給油ラクラク。低重心&安定性向上。

高発電容量オルタネータ

約180Wのパワフル発電。HID投光器などの接続が可能。

ダンパー付圧力計

急激な圧力変動にも対応。

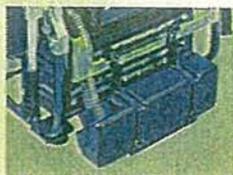
FF DASH premium

実戦に強い! 操法で勝つ!
確実な始動と圧倒的な送水力

- 電子制御燃料噴射方式だから、いつでもどこでも誰でも一発始動。
- 始動～吸水～送水～0.4MPa放水までフイックレスポンスを実現
- 操法用根元媒介接手採用により、ホースの着脱性を向上、折れを防止。
- ダンパー式圧力計・連成計を標準装備。



操法用根元媒介接手



排水キャッチタンク



大型ロープ掛け

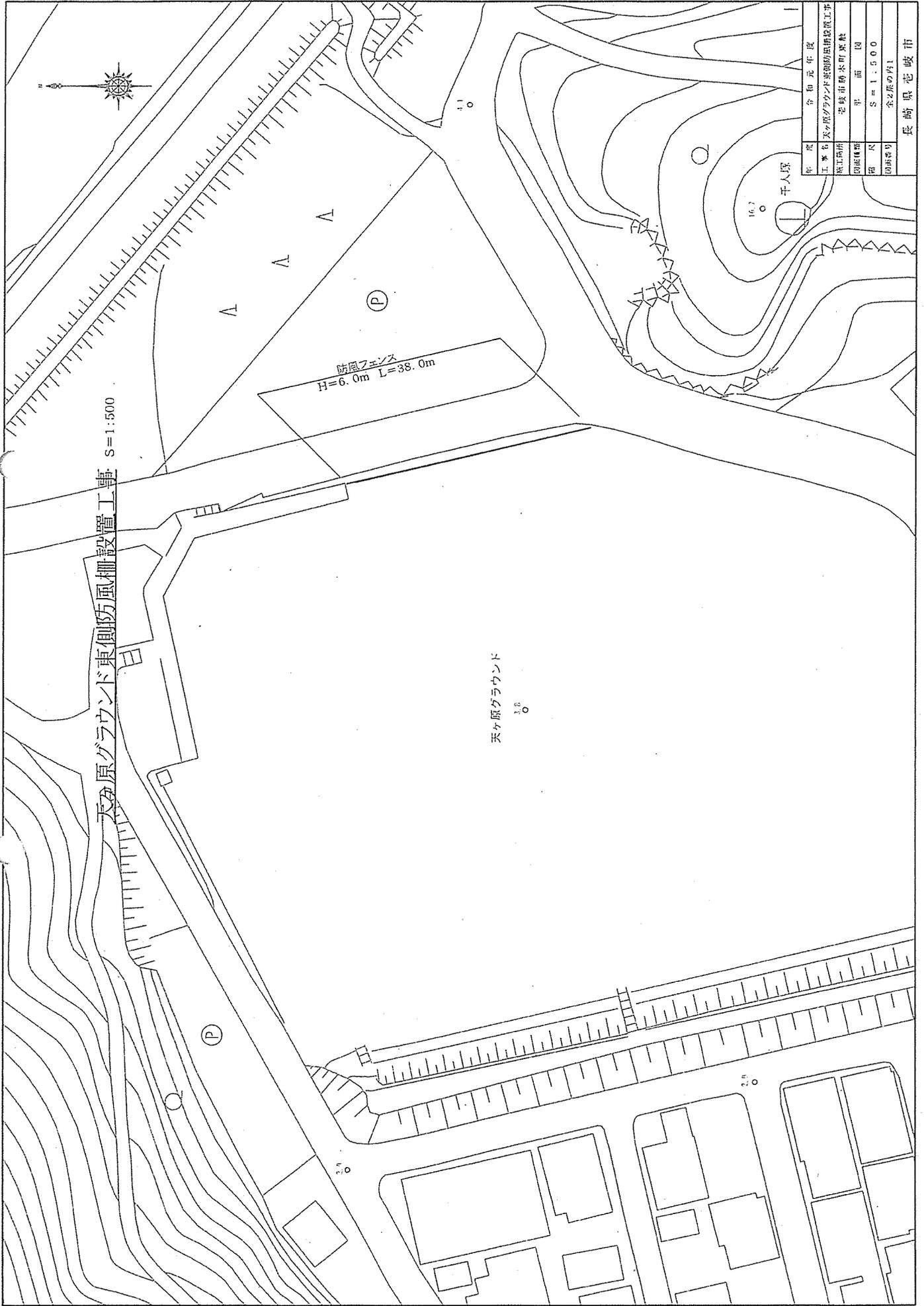


いずれも
FF DASH premium
のみの機能

全国
消防ポンプ
操法大会2012

優勝
モデル





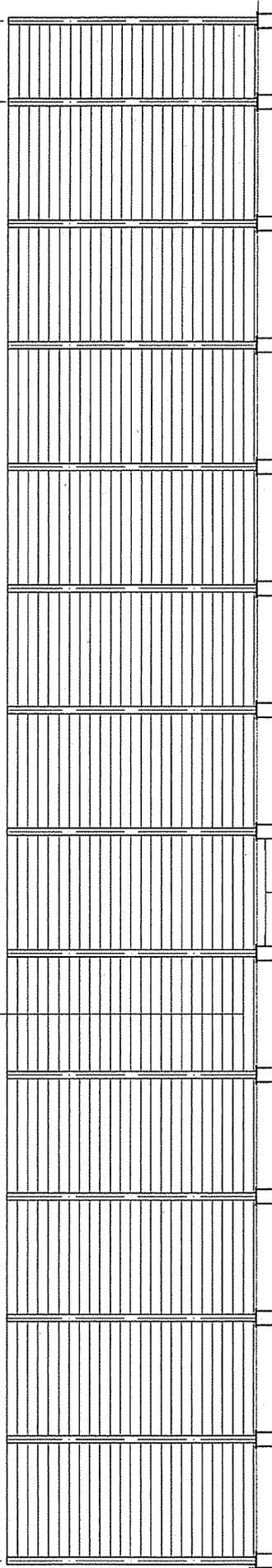
天ヶ原グラウンド東側防風柵設置工事 S=1:100

38,000

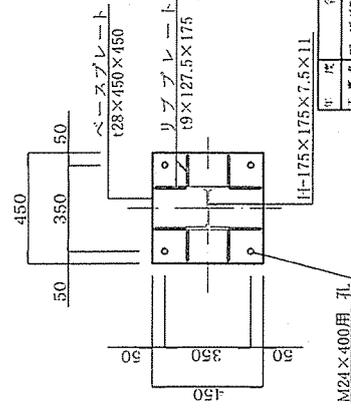
12@3,000=36,000

2,000

有孔折板(60)
t1.6×250



ベースプレート詳細図 S=1:20



種別	細別	単位	数量	単位数(個)	重量(kg)	備考
主柱	H-175×175×7.5×11 L=6027	本	14	243.491	3,408.874	SS400
ベースプレート	t28×450×450	枚	14	44.510	623.140	SS400
リブプレート	t9×127.5×175	枚	112	1.576	176.512	SS400 : 8枚/主柱 24枚/スパン
有孔折板(60)	t1.6×250 L=2940	枚	288	7.171	2,065.248	SS400 : 2枚/スパン ×12スパン
有孔折板(60)	t1.6×250 L=1940	枚	24	4.732	113.568	SS400 : 2枚/スパン ×12スパン
有孔折板取付ボルト	M8×30(緩止N・2W付)	組	1248	0.026	32.448	緩止N16用: 4組/枚×312枚 2枚/枚×23枚
中止金具(パイプ用)	t2.3×25×65	枚	598	0.029	17.342	SPHC : 2組/枚×23枚 ×132スパン
中止金具取付ボルト	M8×25(緩止N付)	組	598	0.020	11.960	2組/枚×23枚 ×132スパン
アンカーボルト	M24×400(2N・17ヶ用W付)	組	56	1.406	78.736	SS400 : 4組/主柱×14主柱 2枚/スパン
樹脂カプセル	HP-24	本	56	-	-	エポキシ樹脂
合計					6527.828 kg	

年度	令和五年 年度
工事名称	天ヶ原グラウンド東側防風柵設置工事
所在地	定規市町水町東段
図面番号	平面図
縮尺	S=1:500
図面番号	全2張の内2
作成者	長崎県定規市